



はじめの一步

教室ブログ更新中(<http://onestep-mfj.com/>)

vol.129

小学英語と中学英語のギャップ

2020年度から小学校で必修となった英語は、be動詞に一般動詞、疑問文や否定文、現在形と過去形と、従来中学で学んでいた文法事項の多くを学びます。しかも、小学英語では基本的な単語や英文の読み書きはせず、音声を中心に「**耳と口で覚える英語**」が中心となっています。実はここに大きな落とし穴があるんです…。英語の読み書きができないまま、いわば耳コピだけで英語を習得しなければならないのです。耳コピした英文は口からスラスラ出てきても、**基本的な単語すら書くことができないのです**。しかし、中学英語では「小学生の時に習ったよね」と言わんばかりに、最初のテストから基本的な単語はもちろん穴埋め、英作、並び替えも出してくるんです。そうすると、子どもたちは「英語…難しい!」「苦手」「英語なんて大嫌い!!!」と心にロックがかかってしまうんです。



ONE STEPの小5・小6生の授業は…

ONE STEPに通う小学生の大半は国語・算数で通塾していますが、**小5からは国語の授業の一部を英語学習に充てています**。学校の教科書に準じたワークで**例文の音読練習、タブレットを使つてのリスニング練習、文法練習**を行っています。始めのころはアルファベットを4本線ノートに書くこともやっとなりましたが、徐々にアルファベットの書き方にも慣れていきます。学校より先取りで学習をしているので、学校での授業も積極的に参加できるようで、小学校のテストに備えるにはここまでで十分ですが、**中学校の授業では小学校で習った基本単語の修得が前提となって進められるので、単語練習も宿題に組み込んでいます**。また、小6にはこれから卒業までに「**100の単語を読み書きできること**」、「**20の基本例文を暗唱すること**」を目標に取り組んでもらいます。そして、**3月からは中学の教科書に準じた予習を始めます**。



目で見て耳で聞いて声に出してひたすら書く!

小学校の宿題で主流だった漢字練習が、中学校の宿題で出されることはほぼありません。その代わりに英単語練習が宿題には…なりません!! **漢字も英単語も自分で学習を進めるしかないので、自分で覚えていくしかないので**。今の教科書や問題集はQRコードで音声聞けるようになってきているものがほとんどです。**まずは、その単語がどのように発音されるのかを確認しましょう。次に、その単語の意味を確認しましょう。最後に、声に出して発音しながら書いていきましょう**。単語は習い始めが一番大変です。しかし、様々な単語を発音しながら書いていくうちに“family”も“father”も“f”から始まることに気付く、“father”と“weather”は“ther”が同じ音をしていることに気付けるようになります。**読みとつづりの関係がわかると、英単語の習得も早くなります**。中学最初の中間テストを終えて「**英語やらなきゃだめかも…**」から始めるのでは遅すぎます。「**英語が楽しいよ**」と思えているうちにスタートしましょう。

ごあいさつ

こんにちは! ONE STEPは**個別指導の目標達成塾**です。**未来を作る子どもたちが**、自分自身の目標を持って前に進む姿を、保護者様と一緒に見守り、時に悩み、時に笑い、共に喜ぶ。**心を寄せて子どもの成長を導いていくことが私たちの務めだ**と思っています。

教室を開校して14年が経ちおかげさまで、兄弟姉妹でお通いいただき、ご家族とも長いお付き合いをさせていただけるようになりました。これまでのたくさんの出会いに感謝し、**お礼の気持ちをこの地域に還元したい**と、教育情報誌をお配りしております。小さい塾なので、大きなことはできませんが、**小さなことこそ大切にしている**地域に根差した個別指導型の学習塾です。